

研究課題

「保育への情熱が保育者の精神的健康及び保育の質に与える影響」

(2023年度学術研究助成基金助成金 基盤研究(C)に採択)

メディアコミュニケーション学部
こどもコミュニケーション学科

蛭原正貴 講師



仕事や学業、スポーツ等の充実において欠かせない要素の一つに「情熱」が挙げられます。情熱 (passion) とは、「個人が愛着を持ちながら多くの時間とエネルギーを費やし、自身にとって重要だと位置付けている活動に対する強い意向や欲求」とされている概念です (Vallerand et al., 2003)。概念としての説明を聞くと少しややこしく感じるかもしれませんが、言葉自体は日常的に聞くことのできる言葉だと思います。

この「情熱」には2種類の状態が存在すると言われており、それぞれ「調和的情熱」、「執着的情熱」として分けられています (Vallerand et al., 2003)。調和的情熱とは、「重要と位置付けている活動と他の活動との統制がとれており、葛藤を抱えることなくそれぞれの活動に取り組むことができる状態」を指します。例えば、部活動への調和的情熱が高い学生は、部活動に取り組みながらも日々の課題や定期試験にも計

画的に取り組むため、それぞれの活動の間に葛藤を感じることなく、充実した日々を送ることが出来ます。一方、執着的情熱とは、「重要と位置付けている活動に没頭し過ぎるがあまり、他の活動との統制がとれず、その活動に対して執着的に取り組んでしまっている状態」のことを指します。先ほどの例と比較すると、部活動に没頭し過ぎるがあまり日々の課題や試験勉強が手につかず、課題に取り組めていない不安が部活動にも影響を及ぼすことから、部活動と学業との間に葛藤を抱えながら生活を送るということにつながります。このように、情熱には2種類の状態が存在しており、情熱がギャンブルへの依存 (Vallerand et al., 2003) やバーンアウト (燃え尽き症候群) の抑制 (Carbonneau et al., 2008)、スポーツにおける競技意欲に与える影響 (藤田, 2017) などについて海外を中心に研究が行われています。

この情熱という概念を用いる学術的

意味は、物事に対する取り組み方を特定、分類することができるという点にあります。つまり、仕事に対して情熱的に取り組んでいるにもかかわらず仕事の成果が出ない、むしろ、心身の健康状態がすぐれない場合などに、その情熱の種類を特定して、日常生活を含めた仕事に対する取り組み方にアプローチすることで、状況の改善が期待できます。

本研究では、近年、離職率の高いと言われる保育者を対象として、情熱が保育者の精神的健康や保育の質(子どもとの関わり方など)に与える影響を明らかにすることで、状況を改善するための新たな視点、アプローチの獲得につながるのではないかと考えています。ひいては、保育職に留まらず、わが国の対人援助専門職を対象とした情熱研究発展の一助になればと思います。

科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金)が交付された研究を紹介します。